

## マイナビ『フリーターの意識・就労実態調査』を発表 ～就職氷河期世代の就職支援を、約7割が「知らない」と回答～

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中川信行）は、現在フリーター\*として働く、15歳から44歳の既卒の男女（女性は未婚者のみ）を対象とした「フリーターの意識・就労実態調査」を発表しました。調査結果の概要（一部抜粋）は以下の通りです。（有効回答数：1,754名）  
※）厚生労働省の定義に基づく。パート・アルバイトとして働いている人、または非就労者のうち希望する雇用形態が「アルバイト・パート」の人

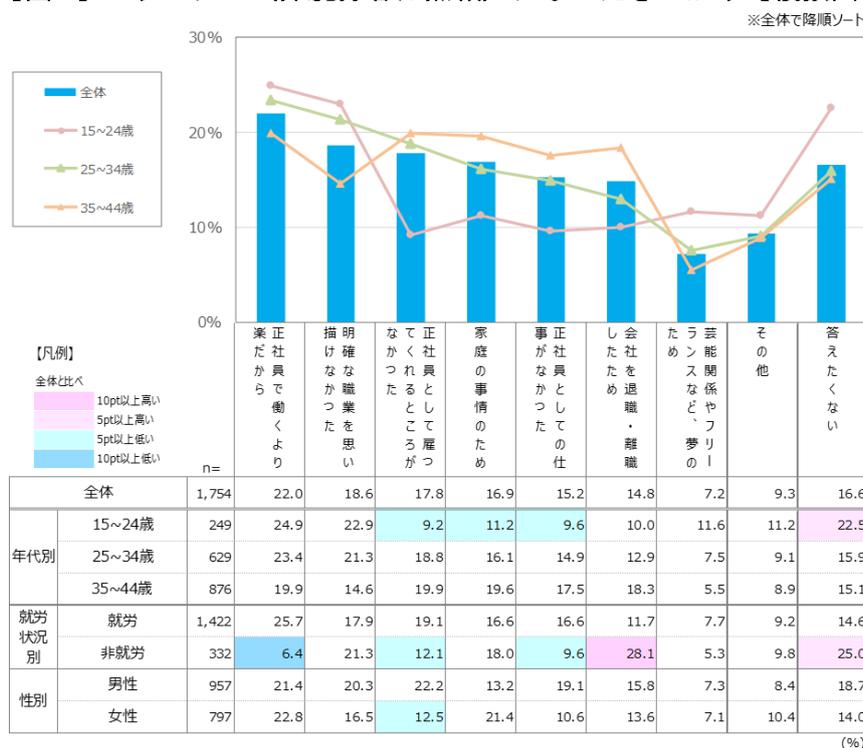
### 【TOPICS】

- フリーターになったきっかけについて、全体では「正社員より楽」が多いが、35歳以上は外部環境に起因する回答が高い傾向【図1】
- 非就労者のうち「就業意欲はあるが、求職活動はしていない」が6割を超える。求職活動していない理由は、「知識・能力に自信がないから」が最も多く46.7%【図2】【図3】
- 就職氷河期世代の就職支援を、7割弱が「知らない」と回答【図4】

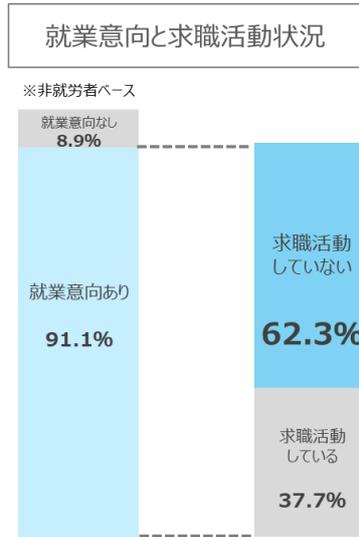
### 【調査概要】

フリーターになったきっかけは、「正社員で働くより楽だから（22.0%）」、「明確な職業を思い描けなかった（18.6%）」が高い結果となった。一方、35歳以上のフリーターは、「正社員として雇ってくれるところがなかった（19.9%）」「家庭の事情のため（19.6%）」など、外部環境に起因する回答が多い傾向に。また、非就労者のうち「就業意向のある人」は9割を超えているが、そのうち「求職活動をしている人」は37.7%、「就業意向はあるが、求職活動はしていない」が62.3%となった。求職活動をしていない理由として、「知識・能力に自信がないから（46.7%）」が最も高い結果となった。就職氷河期世代の就職支援認知状況については、「知っている」が約3割、「知らない」が約7割を占めた。年代が上がるほど認知も上がっているが、全体としてまだ浸透していないことがうかがえる。

【図1】フリーター（非就労者は無職）になったきっかけ【複数回答】



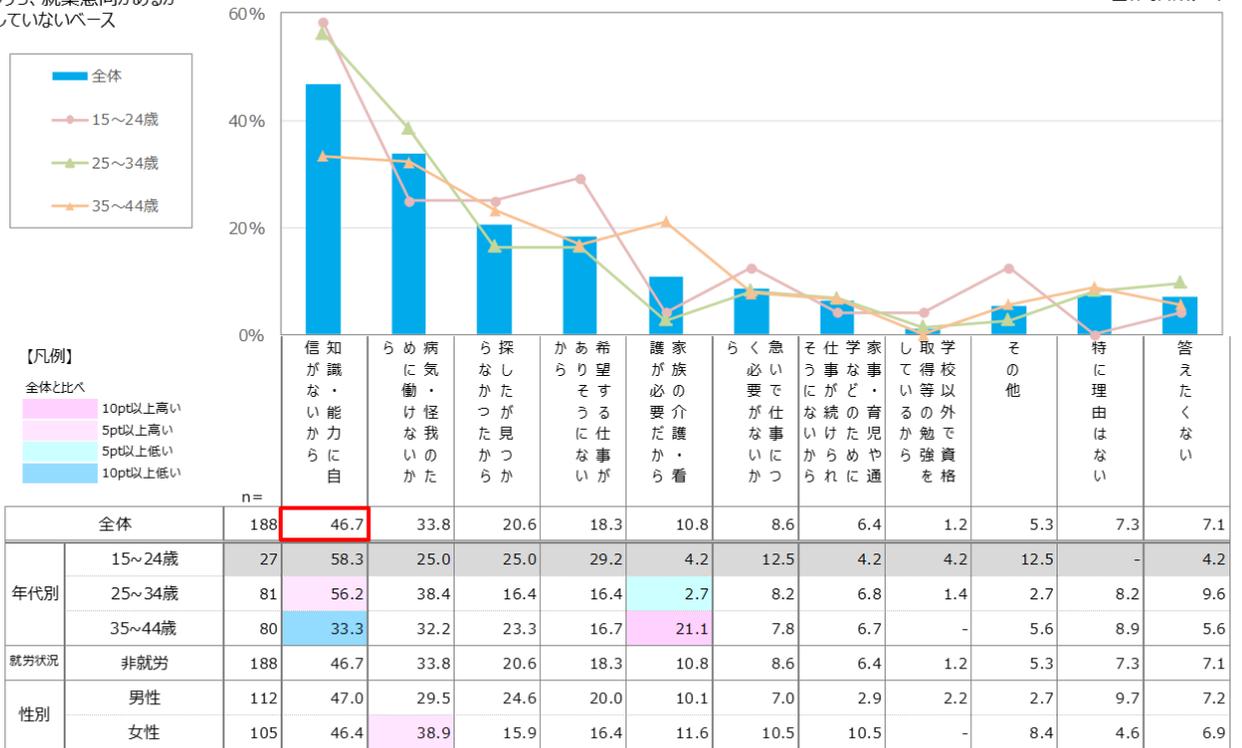
【図2】非就労者の就業意向と求職活動状況 (n=332)



【図3】(非就労者のうち、就労意向はあるが就職活動していない人) 求職活動をしていない理由 【複数回答】

※非就労者のうち、就業意向があるが求職活動していないベース

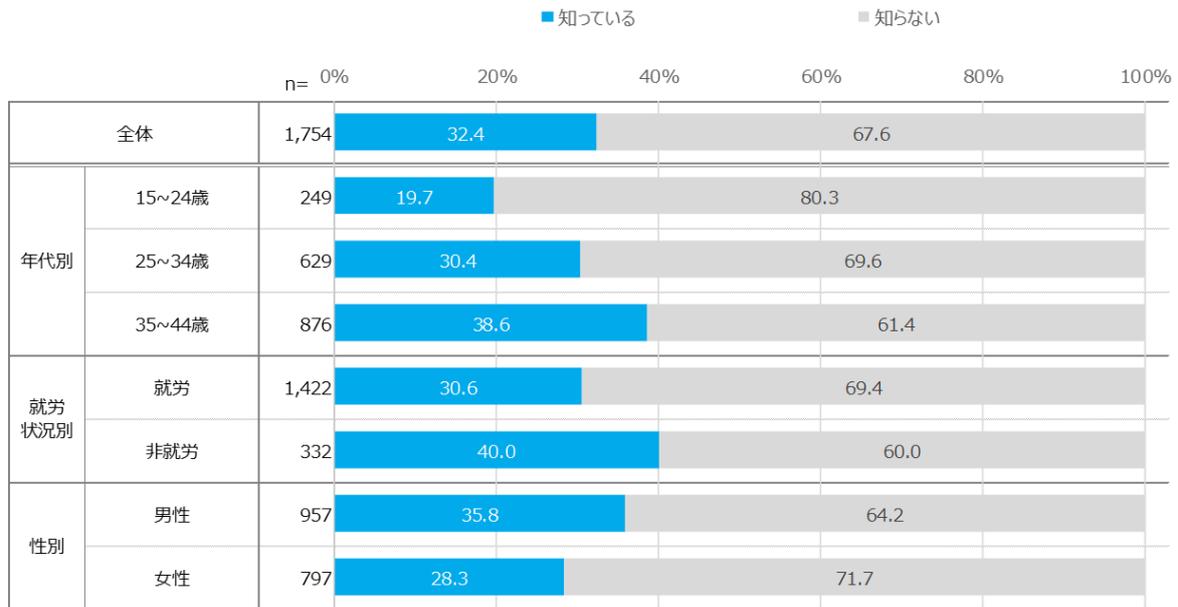
※全体で降順ソート



※n=30未満はグレーアウト

(%)

【図4】就職氷河期世代の就職支援に関する認知状況について【単一回答】



マイナビ『フリーターの意識・就労実態調査』概要

【調査方法】 インターネット調査

【調査期間】 2019年7月5日（金）～2019年7月8日（月）

【調査対象】 15～44歳の男性は既卒、女性は既卒かつ未婚のうち、パート・アルバイトとして働いている人、または非就労者のうち希望する雇用形態が「アルバイト・パート」の人  
 ※調査時点、厚労省のフリーター定義より

【有効回答数】 1,754名

※「総務省・労働力調査（2019年5月分データ）」を元に、ウエイトバック集計を行っております

【実施期間】 株式会社インテージ

※調査結果の詳細は会社HPのニュースリリース (<https://www.mynavi.jp/news/>) からご確認いただけます。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社マイナビ  
 社長室 アルバイトリサーチチーム  
 Tel : 03-6267-4425 Fax : 03-6267-4145  
 Email : [myArm@mynavi.jp](mailto:myArm@mynavi.jp)

【当社に関するお問い合わせ先】

株式会社マイナビ  
 社長室 広報部  
 Tel : 03-6267-4155 Fax : 03-6267-4050  
 Email : [koho@mynavi.jp](mailto:koho@mynavi.jp)